

■ 流鏑馬：五穀豊穰を祈って（2026年は午年）



Photolibrary/pl-2025145053582(京都府で撮影)

流鏑馬（やぶさめ）は、疾走する馬上から鏑矢（かぶらや）で的を射る日本の伝統的な弓馬術です。武士の鍛錬や神事として発展し、現在も各地で奉納されています。

※上図は京都府下川神社 5月



「描き方、塗り方」

- 1、馬体の輪郭を描き上に騎手を載せる。騎手は結構大きいのでバランスに注力。
 - 2、馬は胴体を描き脚を付けてバランスを取る。
 - 3、騎手も胴体を描き手足を付けて頭を載せる（バランス良く）。
- <背景塗りは後回しで体力温存>-----
- 4、騎手の派手な衣装を桃赤系の色で模様を白残して塗る。（模様の感じが掴めればよい）
 - 5、騎手の身の回りや手綱等をカラフルに塗る。
 - 6、栗色の濃淡で馬体を塗り、たて髪や尾を塗る。
 - 7、木々や幕、地面を塗り最後に土煙りをブラッシングして完成。